

【 刀 劍 】

指定	種別	銘別	名称	刃長 (cm)	反り (cm)	時代	国	前期	後期
1	重要美術品	太刀	銘 備前国友成	七四・九	二・〇	平安時代後期 鎌倉時代初期	備前国	○	○
2	特別重要刀剣	太刀	銘 備前国包平作	七二・七	一・四	平安時代後期 鎌倉時代初期	備前国	○	○
3	特別重要刀剣	太刀	銘 備前国末行	七二・四	一・六	平安時代後期 鎌倉時代初期	備前国	○	○
4	重要刀剣	太刀	銘 助包	六八・五	一・六	平安時代後期 鎌倉時代初期	備前国	○	○
5	重要刀剣	太刀	銘 高包	六六・二	一・八	平安時代後期 鎌倉時代初期	備前国	○	○
6	重要刀剣	太刀	銘 助近造	七〇・〇	二・六	平安時代後期 鎌倉時代初期	備前国	○	○
7	重要刀剣	太刀	銘 則口(則重)	六八・八	二・二	平安時代後期 鎌倉時代初期	備前国	○	○
8	重要美術品	太刀	銘 基近造	七〇・二	一・八	平安時代後期 鎌倉時代初期	備前国	○	○
9	重要美術品	太刀	銘 順慶	七七・九	三・〇	平安時代後期 鎌倉時代初期	備前国	○	○
10	重要刀剣	太刀	銘 利恒	七〇・五	二・〇	平安時代後期 鎌倉時代初期	備前国	○	○
11	特別重要刀剣	太刀	銘 守利	七七・二	二・五	平安時代後期 鎌倉時代初期	備中国	○	○
12	重要文化財	太刀	銘 次忠	七九・〇	二・六	鎌倉時代初期	備中国	○	○
13	重要刀剣	太刀	銘 次家	七二・四	一・八	鎌倉時代前期	備中国	○	○
14	重要文化財	太刀	銘 一助成造	七四・七	二・五	鎌倉時代前期	備前国	○	○
		拵	黒蠟色塗三ツ巴紋散螺鈿鞘糸巻太刀拵 (一助成造に附属)					○	○
15	特別重要刀剣	太刀	銘 則成	七〇・六	二・四	鎌倉時代前期	備前国	○	○
16	重要刀剣	薙刀直し 脇指	無銘 一文字	四八・四	〇・八	鎌倉時代中期	備前国	○	○
17	特別重要刀剣	太刀	銘 則房	七二・七	一・六	鎌倉時代中期	備前国	○	○
18	重要刀剣	薙刀直し 脇指	無銘 片山一文字	五三・六	〇・六	鎌倉時代中期 後期	備前国	○	○
19	重要刀剣	刀	無銘 長則	六九・三	一・九	鎌倉時代後期	備前国	○	○
20	特別重要刀剣	太刀	銘 延吉	六八・八	二・二	鎌倉時代中期	大和国	○	○
21	重要刀剣	刀	無銘 龍門延吉	六七・七	一・九	鎌倉時代中期 後期	大和国	○	○
22	重要刀剣	太刀	銘 景秀	七七・一	一・七	鎌倉時代中期	備前国	○	○
23	重要刀剣	刀	無銘 景秀	六八・九五	二・二	鎌倉時代中期	備前国	○	○
24	重要刀剣	薙刀直し 脇指	銘 長光	三九・〇	一・二	鎌倉時代後期	備前国	○	○
25	重要刀剣	太刀	銘 備前国長船住左近将監長光(造) 永仁五年三月日	七七・〇	三・〇	鎌倉時代後期 永仁五年(一二九七)	備前国	○	○
26	重要刀剣	太刀	銘 守家造	七一・八	三・二	鎌倉時代中期	備前国	○	○
27	重要刀剣	太刀	銘 守家	七一・三	一・八	鎌倉時代中期 後期	備前国	○	○
28	重要文化財	太刀	銘 真守造	七七・一	三・〇	鎌倉時代中期 後期	備前国	○	○
29	重要刀剣	太刀	銘 雲生	六四・五	一・七	鎌倉時代後期	備前国	○	○
30	重要刀剣	刀	無銘 伝雲次	七一・一	一・七	鎌倉時代後期	備前国	○	○
31	重要刀剣	太刀	銘 国宗	七四・〇	二・四	鎌倉時代後期	備前国	○	○
		拵	銘 金梨子地葵紋散蒔繪鞘糸巻太刀拵 (国宗に附属)			江戸時代中期		○	○
32	重要美術品	太刀	銘 為長	七二・九	二・一	鎌倉時代末期	備前国	○	○
33	特別重要刀剣	太刀	銘 嘉元二年五月日 中原国宗	七六・一	二・七	鎌倉時代後期 嘉元二年(一二三〇六)	三河国	○	○
34	重要刀剣	太刀	銘 備前国□□住長□(伝長親) 建武二年二月日	七六・七	二・七	南北朝時代初期 建武二年(一二三五)	備前国	○	○
35	特別重要刀剣	脇指	銘 備州長松倫光 貞治二年二月日	三〇・八	〇・二	南北朝時代中期 貞治二年(一二六三)	備前国	○	○
36	重要刀剣	太刀	銘 (銘不明) 政光	七一・〇	二・〇	南北朝時代後期	備前国	○	○
37	重要刀剣	太刀	銘 備州長松秀光	六九・二	一・八	南北朝時代末期	備前国	○	○
38	重要刀剣	刀	銘 兼長 金象嵌銘	六四・〇	一・四	南北朝時代中期	備前国	○	○
		拵	黒雲文塗丸に十字紋切金散鞘打刀拵			江戸時代		○	○
39	特別重要刀剣	刀	銘 備州長松住盛景 永和元年十月日	六九・八	一・五	南北朝時代中期 永和元年(一二七五)	備前国	○	○
40	重要刀剣	太刀	銘 備州長松盛重 永享三年辛亥八月日	八二・九	一・四	室町時代前期 永享三年(一四三一)	備前国	○	○
41	重要刀剣	太刀	銘 末則	七一・六	一・五五	南北朝時代中期	備前国	○	○
42	重要刀剣	太刀	銘 藤原清則 宝徳三年三月日	六八・六	一・八	室町時代前期 宝徳三年(一四五二)	備前国	○	○

43	脇指	銘	備州長船住康光 正長元年八月日	三八・二	〇・四	室町時代前期 正長元年(一四二八)	備前国	○	○
	拵		腰骨貝微塵塗銀一分刻鞘脇指拵			江戸時代後期		○	○
44	脇指	銘	備州長船住重光 應永廿九年二月日	三九・四	〇・二	室町時代前期 応永廿九年(一四三二)	備前国	○	○
45	脇指	銘	備前国住長船左京進宗光 永正十八年八月吉日	五七・八	一・二	室町時代後期 永正十八年(一五二二)	備前国	○	○
46	短刀	銘	備前国住長船源兵衛尉祐定作 永祿二年二月吉日	二二・二	内反り	室町時代後期 永祿二年(一五五九)	備前国	○	○
47	脇指	銘	羽州住人月山近則 永正九年二月吉日	五三・二	一・三	室町時代後期 永正九年(一五二二)	出羽国	○	○
48	短刀	銘	信濃国住人法廣 平成廿一年秋	二六・八	なし	現代 平成廿一年(二〇〇九)	長野県	○	○

【 刀装・刀装具 】

指定	種別	名称	時代	国	備考(伝来)
 重要小道具	鐺	三階松透鐺 無銘 又七	江戸時代前期	肥後国	
 重要小道具	鐺	菊花菊葉透鐺 無銘 西垣勘四郎	江戸時代前期	肥後国	
 重要小道具	鐺	桐文散鐺 無銘 古美濃	桃山時代	美濃国	
	鐺	和本図透鐺 無銘 京正阿弥	江戸時代中期	山城国	
	縁頭	恵比寿大黒図縁頭 銘 大森秀知(花押)	江戸時代後期	武蔵国	
	目貫	海老図目貫	江戸時代		
	小柄	宝尽くし図小柄 銘 櫻井義基(花押)	江戸時代後期	越中国	
	縁頭	鶴退治図縁頭 銘 越中住親随(花押)	江戸時代末期	越中国	
	小柄	翁図小柄 銘 為宝翁親随(花押)	江戸時代末期	越中国	
	三所物	葵紋三所物	江戸時代		
	資料	備前国包平附属資料(徳川家慶黒印状)	江戸時代		②備前国包平附属 館林藩秋元家伝来

【備考】指定について 重要文化財とは、文化財保護法に基づき日本国政府(文部科学大臣)が指定した文化財
重要美術品とは、文化財保護法施行以前に、旧「重要美術品等ノ保存ニ関スル法律」に基づき日本政府(文部大臣)が認定した有形文化財
特別重要刀剣とは、公益財団法人日本美術刀剣保存協会が、重要美術品に相当する、または重要文化財に準ずる価値があると判断されて指定した刀剣
重要刀剣とは、公益財団法人日本美術刀剣保存協会が、重要美術品に準ずると判断されて指定した刀剣
重要小道具とは、公益財団法人日本美術刀剣保存協会が、重要美術品に準ずると判断されて指定したもの。

MORI SHUSUI MUSEUM OF ART
森記念秋水美術館

備前刀 用と美の系譜

展示 作品 目録

【鑑賞室】 一階 鑑賞室

【会 期】 前期：平成三十年十二月二十一日(金)～二月二十四日(日)

後期：平成三十一年三月一日(金)～五月二十六日(日)

※展示期間中、一部作品の展示替えがあります。

※都合により出品作品は変更することがあります。